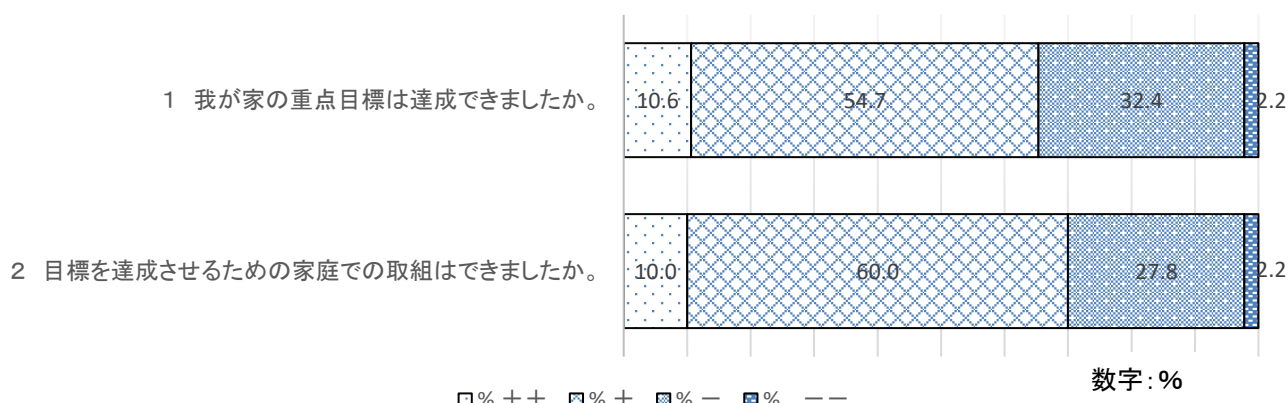


保護者
(家庭)

協働型学校評価

「我が家の重点目標」のアンケート結果(12月) 回収率 46%

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



子供たちをよりよく育成するための御意見や家庭での成功談等

1	事前にやることや時間などを確認しあって、お互いに理解して取り組む。
2	話をたくさんすることで嫌だったことも話しやすくなったのか、大きなトラブルになる前にアドバイスをできたと思います。言葉にするのが苦手なタイプだったので、一日を振り返ることで、伝える力が付いたのだと思います。
3	テレビを見ないように消す時間をつくる。
4	前日の夜に次の日の衣服を用意すると、朝の着替えの時間が短くなりました。
5	一人10個ずつ片づける時間を出かける前に設けました。
6	家庭内の挨拶を大事し、子供の話をよく聞くように努めています。
7	コロナの影響もあり、子供への制約があるのは仕方ないのですが、気軽におしゃべりもできない状況で始まった新1年生は、いろいろな面で大変でした。早くみんなと打ち解けることができることを願うばかりです。
8	気持ちよく挨拶ができたときは、十分に褒めていきました。
9	時間を決めて守るようにしました。
10	時代の流れとして、知らないお子さんにどこまで声掛けをしてよいか迷うところではありますが、加茂小の子供たちは進んで挨拶してくれるので、気持ちよく「こんにちは」が言えていいと思います。
11	子供と話をする時間をたくさんつくっています。
12	よくも悪くも子供は大人の姿を見て育つのだと感じています。子供の手本になれるような身近な大人として、恥ずかしくないような行動をしなければと思いながら生活しています。
13	話をよく聞くことで、ヒントが生まれるかもしれないと気付きました。あと、子供の様子をよく見るように心掛けました。
14	最近子供の興味がテレビやゲームに偏りがちなので、一緒に出かける時間を意識してつくり(買い物、ドライブ、映画など)、同じことを体験してバランスが取れるようにしました。
15	最近始めた習い事の先生が、とにかくよく褒めてくれます(具体的に)。そうすると、子供が自信を持つようになってきました。褒めることはよいことだと実感しました。
16	親が察して動くのではなく、なるべく自分のことは自分でさせるよう、最後まで言葉で伝えるように意識をしています。
17	我が家は兄弟が多いので兄弟間でけんかもありますが、自然と相手を思う気持ちが培われていると思います。
18	まずは大人が見本を示してあげないといけないと感じています。
19	2年生からゲームをするようになりましたが、ゲームやスマホとの上手なつきあい方をよく理解してもらう必要があると感じます。今は土日曜日に1~2時間です。
20	親子で共通の趣味を持つといいのでは。
21	言っておしまいではなく、伝わったことを確認できるまで伝える。
22	休校あけでもコロナ禍であり、様々なストレスがあると思い、「きく」を意識して過ごしました。
23	相手に聞こえる声で挨拶ができるようにしたい。

24	子育ては家庭だけではなく、学校も共にあるべきと思います。学校での様子は本人からしか聞くことがなく、子供の様子がより分かるように学校からの発信を増やすべきだと思います。
25	家庭内での挨拶を大切にし、話をよく聞くように努めています。
26	家庭では声掛けをしているのですが、改善されない所以对策を考え直し、本人とも話し合いたと思います。
27	集合時刻や出発時刻等を伝え、自分で準備ができるようになりました。
28	町内会の一斉清掃が年4回ほどありますが、全て積極的に参加しています。これからも継続してほしいです。
29	職場で問題になっているのが、新卒の方の挨拶です。「おはようございます」はもちろん、「ありがとうございます」「ごめんなさい(すみません)」の挨拶ができない方が多いです。子供の頃から言うのが当たり前になってほしいと思います。
30	親子一緒にいろいろなことを行うとよいと思います。共有できるし、一緒にやらないと何ができて何ができていないのかが分かりません。
31	子供たちとの会話の時間を増やし、よく話を聞くようにする。
32	子供と一緒に計画を立てて学習に取り組みました。子供にとっても見通しを持つことができました。
33	マスクで表情が見えないからこそ、声に気持ちを込めるように意識しています。子供らしい表情を失わないでほしいと思います。
34	親の失敗談や経験談を話しています。失敗から得たことや対処法など、今後はどう活かしていくかを話しています。
35	親も「行ってきます」などと声掛けをして、挨拶の大切さを教え、習慣として身に付けさせたい。
36	8時にはテレビを消すようにする。
37	返事などは年齢が上がるにつれ、恥ずかしいのか小さな声になるので、「うん」で済ませないように意識をして返事をするように心掛けたいです。
38	時計を見ながら、時間を決めて何事にも取り組むようになってほしいと思います。
39	町内会の清掃活動は進んで参加しており、このまま継続してもらいたいです。
40	スポーツを通して挨拶や返事、相手を応援する言葉などが身に付いたように感じます。
41	片付けや準備等の行動をすぐにできるようになってほしい。
42	挨拶することの大切さを伝え、とにかくこちらから手本として声掛けを続け、自然に挨拶ができるように促していきたいです。
43	親の課題として、「できたら褒める」「できるまで待つ」が挙げられます。
44	起きる時間と寝る時間を決め、目標が達成できたかどうか日記を書く。
45	点数のよいテストを飾ったり、クラスの賞状を見えるところにはり、次もまた頑張ろうと思えるようにしました。そして、その都度できたところを褒める！認める！
46	時間管理をしてほしいと思うので、必要以上の声掛けをやめてみようと思います。「もう〇〇分だよ」や「時間ないよ」など。
47	自分のことは自分でやるのは当たり前として、その他、米とぎ、お風呂掃除、トイレ掃除などは5～20円くらいのバイト代が出る。稼ぐためには働くこと。
48	子供の「できる時間(やりたい時間)」に宿題等を自分のペースでやらせ、その他の時間は好きなことができるように時間配分させました。見守ることを意識して私自身も頑張っています。
49	友達とトラブルになったときのお互いの意見を個別に聞いてから、お互いの意見をすりあわせていく方法もありなのかなと思います。
50	自主学习をさせる。
51	2～3日先の予定や1週間のスケジュールを話しながら、少し先のことも頭に入れて行動したり準備しておくことをさせています。先のことが頭に入っていると、行動がスムーズになり当日慌てることも少なくなりました。
52	大人が余裕をもって接すると子供は喜んで話してくれました。
53	よく見てよく褒めるとうまくいきました。
54	スポーツをして自信が付いたことで、物事に対して真剣に取り組めるようになりました。悔しさやうれしさの感情を出せるようになりました。
55	空箱等を利用して片付けやすいよう、子供とルールを決めて取り組みました。
56	親から話しかけることを心掛けています。
57	子供の様子をよく見て気付いたところなどを話し合っていけたらと思っています。先生からのとてもためになる話を聞くことが何より楽しいようです。
58	コミュニケーションの取り方が親世代とは違う世代を生きるの、人とつながることが簡単な分、どう付き合っていくのか難しいだろうなあと思います。
59	常に「ありがとう」と伝える。

60	学校に行く前ではなく、夜のうちに準備しなさいと言っているのに、意識が足りないのか朝やっていることが多く見られました。
61	人の手伝いをしたいと言っていましたが、今回、大変そうにしていたおじさんに、自ら「手伝いますか」と声を掛け、落ち葉を運ぶのを手伝ったことがよかったです。
62	子供の目を見て話したり、納得するまで伝えたりしました。
63	子供と話すときは、まずは作業の手を止めて顔を見て、聞いている姿をしっかりと伝えるように心掛けました。
64	子供との信頼関係や褒めて伸びていくことの大切さを感じました。